

北海道花き振興計画（案）に係る記述事項修正一覧表

番号	頁	素案（10/28時点）	案（2/17時点）	修正理由
1	P 1	<p>この計画は、本道の花き産業の持続的な発展と花きを活用した道民の豊かで健康な暮らしの実現を目的とし、「花きの振興に関する法律（平成26年法律第102号）」第4条第1項、「花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針（令和2年4月21日）」及び「北海道花きの振興に関する条例（令和2年7月14日北海道条例第81号）」第3条第2項の規定に基づいて策定しました。</p> <p>計画期間は、「北海道農業・農村推進振興計画」との整合性を考慮して、令和3年度から7年度までの5か年間とします。</p>	<p>この計画は、本道の花き産業の持続的な発展と花きを活用した道民の豊かで健康な暮らしの実現を目的とし、「花きの振興に関する法律（平成26年法律第102号）」第4条第1項、「花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針（令和2年4月21日）」及び「北海道花きの振興に関する条例（令和2年7月14日北海道条例第81号）」第3条第2項の規定に基づいて策定しました。</p> <p>計画期間は、「北海道農業・農村推進振興計画」との整合性を考慮して、令和3年度から7年度までの5か年間とし、<u>令和12年度を目標年度とします。</u></p>	□意見を踏まえ、目標年度を記載
2	P 2	<p>第1 花き産業及び花きの文化の振興に関する方針</p> <p>1 本道の花きをめぐる現状と課題</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 課題</p> <p>(略)</p> <p>消費が伸び悩む中、道産花きの需要を確保するためには、従来の冠婚葬祭などの業務需要や「母の日」などの物日に偏った消費から、家庭や企業における道産花きの日常使いによる消費にシフトしていくことが重要です。</p> <p>(以下、略)</p>	<p>第1 花き産業及び花きの文化の振興に関する方針</p> <p>1 本道の花きをめぐる現状と課題</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 課題</p> <p>(略)</p> <p>消費が伸び悩む中、道産花きの需要を確保するためには、従来の冠婚葬祭などの業務需要や「母の日」などの物日を<u>中心とした消費に加え</u>、家庭や企業における道産花きの日常使いによる消費を<u>増やして</u>していくことが重要です。</p> <p>(以下、略)</p>	□意見を踏まえ、表現を修正

番号	頁	素案（10/28時点）	案（2/17時点）	修正理由
3	P 2	<p>2 花き産業及び花きの文化の振興の基本的な考え方（略）</p> <p>(1)～(2)（略）</p> <p>(3) 道民の道産花きへの理解醸成と活用の促進、花き文化の振興による需要拡大（略）</p>	<p>2 花き産業及び花きの文化の振興の基本的な考え方（略）</p> <p>(1)～(2)（略）</p> <p>(3) 道民の道産花きへの理解醸成と活用の促進、<u>花きの文化</u>の振興による需要拡大（略）</p>	<input type="checkbox"/> 表現を統一
4	P 3	<p>第2 花き産業及び花きの文化の振興に関する方策</p> <p>1 高品質な花きの安定生産と経営安定</p> <p>■ 消費者・実需ニーズに対応した高品質花きの安定生産</p> <p>○（略）</p> <p>○ 高品質花きの安定生産に向けて、様々な技術の導入や機械・施設の整備を促進します。</p> <p>・ 持続可能な開発目標（SDGs^{注1}）の目標の一つである気候変動とその影響への対策への観点からも、高温障害を回避・軽減するための遮光資材・循環扇などの暑熱対策や、定植期における低温対策などの取組</p> <p>以下、（略）</p>	<p>第2 花き産業及び花きの文化の振興に関する方策</p> <p>1 高品質な花きの安定生産と経営安定</p> <p>■ 消費者・実需ニーズに対応した高品質花きの安定生産</p> <p>○（略）</p> <p>○ 高品質花きの安定生産に向けて、様々な技術の導入や機械・施設の整備を促進します。</p> <p>・ 持続可能な開発目標（SDGs^{注1}）の目標の一つである気候変動とその影響への対策への観点からも、高温障害を回避・軽減するための遮光資材・循環扇の<u>導入などの暑熱対策</u>、定植期における低温対策、<u>環境に配慮した代替エネルギーや資材導入の取組</u></p> <p>以下、（略）</p>	<input type="checkbox"/> 意見を踏まえ、環境に配慮した取組について記載 修正

番号	頁	素案（10/28時点）	案（2/17時点）	修正理由
5	P 3	<p>■ 担い手の育成・確保と経営安定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○（略） ○ 他産業等との連携、農福連携の取組などにより、担い手を支える多様な雇用人材の確保を推進します。 ○（略） 	<p>■ 担い手の育成・確保と経営安定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○（略） ○ 他産業等との連携、農福連携の取組などにより、担い手を支える雇用人材の確保を推進します。 ○（略） 	<p>□「第6期北海道農業・農村振興推進計画」に合わせて文言を修正</p>
6	P 5	<p>5 花きの文化の振興</p> <p>■ 道産花きを活用した花き文化の振興、花育、道民の花のある豊かな暮らしの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道産花きを活用し、生け花や盆栽などの伝統の継承をはじめ、フラワーアレンジメントやガーデニングなど、日常生活の様々な場面で花きが入り入れられるよう、花きに関する文化の振興を図ります。 <p>（以下、略）</p>	<p>5 花きの文化の振興</p> <p>■ 道産花きを活用した花きの文化の振興、花育、道民の花のある豊かな暮らしの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道産花きを活用し、生け花や盆栽などの伝統の継承、<u>季節や年中行事の花飾り</u>、フラワーアレンジメントやガーデニングなど、日常生活の様々な場面で花きが入り入れられるよう、花きに関する文化の振興を図ります。 <p>（以下、略）</p>	<p>□表現を統一</p> <p>□意見を踏まえ、季節や年中行事の花飾りについて記載</p>

番号	頁	素案（10/28時点）	案（2/17時点）	修正理由								
7	P 8	<p>第3 花きの生産目標</p> <p>1 農業産出額の目標（略）</p> <p>2 花きの種類別振興方針</p> <table border="1" data-bbox="418 445 1430 1730"> <thead> <tr> <th data-bbox="418 445 638 506">花きの種類</th> <th data-bbox="638 445 1430 506">振興方針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="418 506 638 1730">切り花類</td> <td data-bbox="638 506 1430 1730"> <p>○ 夏秋季の安定出荷</p> <p>北海道の冷涼な気候を生かした夏秋季のカーネーション、スターチス類等やゆり等の球根類栽培を引き続き推進する。夏季の高温対策や低温期の多重被覆による保温や補助暖房など、施設装備の高度化による開花調節技術の導入を図り、さらなる品質の向上と安定生産を推進する。</p> <p>（略）</p> <p>○ 低コストな周年出荷</p> <p>アルストロメリア等の周年栽培品目は、ヒートポンプや木質系燃料など地域に合った省エネルギー技術の導入で、燃料費節減に取り組みながら低コスト周年出荷体制を推進する。</p> <p>以下、（略）</p> </td> </tr> </tbody> </table>	花きの種類	振興方針	切り花類	<p>○ 夏秋季の安定出荷</p> <p>北海道の冷涼な気候を生かした夏秋季のカーネーション、スターチス類等やゆり等の球根類栽培を引き続き推進する。夏季の高温対策や低温期の多重被覆による保温や補助暖房など、施設装備の高度化による開花調節技術の導入を図り、さらなる品質の向上と安定生産を推進する。</p> <p>（略）</p> <p>○ 低コストな周年出荷</p> <p>アルストロメリア等の周年栽培品目は、ヒートポンプや木質系燃料など地域に合った省エネルギー技術の導入で、燃料費節減に取り組みながら低コスト周年出荷体制を推進する。</p> <p>以下、（略）</p>	<p>第3 花きの生産目標</p> <p>1 農業産出額の目標（略）</p> <p>2 花きの種類別振興方針花きの種類</p> <table border="1" data-bbox="1486 445 2516 1730"> <thead> <tr> <th data-bbox="1486 445 1706 506">花きの種類</th> <th data-bbox="1706 445 2516 506">振興方針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1486 506 1706 1730">切り花類</td> <td data-bbox="1706 506 2516 1730"> <p>○ 夏秋季の安定出荷</p> <p>北海道の冷涼な気候を生かした夏秋季切り栽培（カーネーション、スターチス類等やゆり等の球根類）を引き続き推進する。夏季の高温対策や低温期の多重被覆による保温や補助暖房など、施設装備の高度化による開花調節技術の導入を図り、さらなる品質の向上と安定生産を推進する。</p> <p>（略）</p> <p>○ 低コストな周年出荷</p> <p><u>周年栽培品目（アルストメリア等）</u>は、ヒートポンプや木質系燃料など地域に合った省エネルギー技術の導入で、燃料費節減に取り組みながら低コスト周年出荷体制を推進する。</p> <p>以下、（略）</p> </td> </tr> </tbody> </table>	花きの種類	振興方針	切り花類	<p>○ 夏秋季の安定出荷</p> <p>北海道の冷涼な気候を生かした夏秋季切り栽培（カーネーション、スターチス類等やゆり等の球根類）を引き続き推進する。夏季の高温対策や低温期の多重被覆による保温や補助暖房など、施設装備の高度化による開花調節技術の導入を図り、さらなる品質の向上と安定生産を推進する。</p> <p>（略）</p> <p>○ 低コストな周年出荷</p> <p><u>周年栽培品目（アルストメリア等）</u>は、ヒートポンプや木質系燃料など地域に合った省エネルギー技術の導入で、燃料費節減に取り組みながら低コスト周年出荷体制を推進する。</p> <p>以下、（略）</p>	<p>□表現の修正</p> <p>□表現の修正</p>
花きの種類	振興方針											
切り花類	<p>○ 夏秋季の安定出荷</p> <p>北海道の冷涼な気候を生かした夏秋季のカーネーション、スターチス類等やゆり等の球根類栽培を引き続き推進する。夏季の高温対策や低温期の多重被覆による保温や補助暖房など、施設装備の高度化による開花調節技術の導入を図り、さらなる品質の向上と安定生産を推進する。</p> <p>（略）</p> <p>○ 低コストな周年出荷</p> <p>アルストロメリア等の周年栽培品目は、ヒートポンプや木質系燃料など地域に合った省エネルギー技術の導入で、燃料費節減に取り組みながら低コスト周年出荷体制を推進する。</p> <p>以下、（略）</p>											
花きの種類	振興方針											
切り花類	<p>○ 夏秋季の安定出荷</p> <p>北海道の冷涼な気候を生かした夏秋季切り栽培（カーネーション、スターチス類等やゆり等の球根類）を引き続き推進する。夏季の高温対策や低温期の多重被覆による保温や補助暖房など、施設装備の高度化による開花調節技術の導入を図り、さらなる品質の向上と安定生産を推進する。</p> <p>（略）</p> <p>○ 低コストな周年出荷</p> <p><u>周年栽培品目（アルストメリア等）</u>は、ヒートポンプや木質系燃料など地域に合った省エネルギー技術の導入で、燃料費節減に取り組みながら低コスト周年出荷体制を推進する。</p> <p>以下、（略）</p>											

番号	頁	素案（10/28時点）	案（2/17時点）	修正理由																																																																																												
8	P10	<p>第4 目標とする花き農業経営の指標 効率的かつ安定的な花き農業経営の類型を示します。</p> <table border="1" data-bbox="388 390 1448 982"> <thead> <tr> <th rowspan="2">営農類型</th> <th rowspan="2">面積 a</th> <th rowspan="2">10a当たり 収量 本/10a</th> <th rowspan="2">10a当たり 労働時間 hr</th> <th colspan="2">労働時間</th> <th rowspan="2">粗収益 千円</th> <th rowspan="2">所得 千円</th> </tr> <tr> <th>家族 hr</th> <th>雇用 hr</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>花き専業 (カーネーション、ゆり)</td> <td>500</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>5,912</td> <td>6,210</td> <td>45,731</td> <td>13,488</td> </tr> <tr> <td>農地の賃貸(地目水田)</td> <td>400</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="4" rowspan="7">○花き パイプハウス 6.3×50m 30棟 管理用ティラー 乗用トラクタ50sp 軽トラック4WD ロータリー 1.5m 除雪機 幅1.2m 自走セット動噴除機 かん水施設一式 プレハブ冷蔵庫2坪 暖房機・灯油タンク 3万kcal・480リットル 5台 自動換気装置 電動モーターポンプ</td> </tr> <tr> <td>大中輪カーネーション8～9月切り</td> <td>10</td> <td>60,000</td> <td>1,204</td> </tr> <tr> <td>スプレーカーネーション9月切り <u>一部越冬</u></td> <td>60</td> <td>60,000</td> <td>1,038</td> </tr> <tr> <td>上記のうち、一部越冬(2年目6～7、9～11月切り)</td> <td>15</td> <td>170,000</td> <td>1,252</td> </tr> <tr> <td>ゆり オリエンタル系9月切り 定植年</td> <td>20</td> <td>10,100</td> <td>480</td> </tr> <tr> <td>ゆり オリエンタル系7～8月切り 2年目</td> <td>10</td> <td>9,600</td> <td>392</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 10a当たり収量、労働時間は「北海道農業生産技術体系（第5版）」に準じた。 注2 家族労働は3名で設定した。 注3 粗収益には農地賃貸料を含む。</p>	営農類型	面積 a	10a当たり 収量 本/10a	10a当たり 労働時間 hr	労働時間		粗収益 千円	所得 千円	家族 hr	雇用 hr	花き専業 (カーネーション、ゆり)	500	-	-	5,912	6,210	45,731	13,488	農地の賃貸(地目水田)	400	-	-	○花き パイプハウス 6.3×50m 30棟 管理用ティラー 乗用トラクタ50sp 軽トラック4WD ロータリー 1.5m 除雪機 幅1.2m 自走セット動噴除機 かん水施設一式 プレハブ冷蔵庫2坪 暖房機・灯油タンク 3万kcal・480リットル 5台 自動換気装置 電動モーターポンプ				大中輪カーネーション8～9月切り	10	60,000	1,204	スプレーカーネーション9月切り <u>一部越冬</u>	60	60,000	1,038	上記のうち、一部越冬(2年目6～7、9～11月切り)	15	170,000	1,252	ゆり オリエンタル系9月切り 定植年	20	10,100	480	ゆり オリエンタル系7～8月切り 2年目	10	9,600	392	<p>第4 目標とする花き農業経営の指標 効率的かつ安定的な花き農業経営の類型を示します。</p> <table border="1" data-bbox="1475 390 2534 982"> <thead> <tr> <th rowspan="2">営農類型</th> <th rowspan="2">面積 a</th> <th rowspan="2">10a当たり 収量 本/10a</th> <th rowspan="2">10a当たり 労働時間 hr</th> <th colspan="2">労働時間</th> <th rowspan="2">粗収益 千円</th> <th rowspan="2">所得 千円</th> </tr> <tr> <th>家族 hr</th> <th>雇用 hr</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>花き専業 (カーネーション、ゆり)</td> <td>500</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>6,000</td> <td>5,760</td> <td>46,268</td> <td>15,333</td> </tr> <tr> <td>農地の賃貸(地目水田)</td> <td>400</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="4" rowspan="7">○花き パイプハウス 6.3×50m 30棟 管理用ティラー 乗用トラクタ50sp 軽トラック4WD ロータリー 1.5m 除雪機 幅1.2m 自走セット動噴除機 かん水施設一式 プレハブ冷蔵庫2坪 暖房機・灯油タンク 3万kcal・480リットル 5台 自動換気装置 自動灌水装置</td> </tr> <tr> <td>大中輪カーネーション8～9月切り</td> <td>10</td> <td>80,500</td> <td>1,204</td> </tr> <tr> <td>スプレーカーネーション9月切り</td> <td>60</td> <td>71,400</td> <td>1,038</td> </tr> <tr> <td>上記のうち、一部越冬(2年目6～7、9～11月切り)</td> <td>15</td> <td>192,150</td> <td>1,252</td> </tr> <tr> <td>ゆり オリエンタル系9月切り 定植年</td> <td>20</td> <td>10,600</td> <td>480</td> </tr> <tr> <td>ゆり オリエンタル系7～8月切り 2年目</td> <td>10</td> <td>9,600</td> <td>392</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 10a当たり収量、労働時間は「北海道農業生産技術体系（第5版）」、「北海道フラワーガイド（その28）」に準じた。 注2 家族労働は3名で設定した。</p>	営農類型	面積 a	10a当たり 収量 本/10a	10a当たり 労働時間 hr	労働時間		粗収益 千円	所得 千円	家族 hr	雇用 hr	花き専業 (カーネーション、ゆり)	500	-	-	6,000	5,760	46,268	15,333	農地の賃貸(地目水田)	400	-	-	○花き パイプハウス 6.3×50m 30棟 管理用ティラー 乗用トラクタ50sp 軽トラック4WD ロータリー 1.5m 除雪機 幅1.2m 自走セット動噴除機 かん水施設一式 プレハブ冷蔵庫2坪 暖房機・灯油タンク 3万kcal・480リットル 5台 自動換気装置 自動灌水装置				大中輪カーネーション8～9月切り	10	80,500	1,204	スプレーカーネーション9月切り	60	71,400	1,038	上記のうち、一部越冬(2年目6～7、9～11月切り)	15	192,150	1,252	ゆり オリエンタル系9月切り 定植年	20	10,600	480	ゆり オリエンタル系7～8月切り 2年目	10	9,600	392	<p>□「北海道農業経営基盤強化促進基本方針」の見直しに伴う修正</p>
営農類型	面積 a	10a当たり 収量 本/10a					10a当たり 労働時間 hr	労働時間			粗収益 千円	所得 千円																																																																																				
			家族 hr	雇用 hr																																																																																												
花き専業 (カーネーション、ゆり)	500	-	-	5,912	6,210	45,731	13,488																																																																																									
農地の賃貸(地目水田)	400	-	-	○花き パイプハウス 6.3×50m 30棟 管理用ティラー 乗用トラクタ50sp 軽トラック4WD ロータリー 1.5m 除雪機 幅1.2m 自走セット動噴除機 かん水施設一式 プレハブ冷蔵庫2坪 暖房機・灯油タンク 3万kcal・480リットル 5台 自動換気装置 電動モーターポンプ																																																																																												
大中輪カーネーション8～9月切り	10	60,000	1,204																																																																																													
スプレーカーネーション9月切り <u>一部越冬</u>	60	60,000	1,038																																																																																													
上記のうち、一部越冬(2年目6～7、9～11月切り)	15	170,000	1,252																																																																																													
ゆり オリエンタル系9月切り 定植年	20	10,100	480																																																																																													
ゆり オリエンタル系7～8月切り 2年目	10	9,600	392																																																																																													
営農類型	面積 a	10a当たり 収量 本/10a	10a当たり 労働時間 hr					労働時間		粗収益 千円	所得 千円																																																																																					
				家族 hr	雇用 hr																																																																																											
花き専業 (カーネーション、ゆり)	500	-	-	6,000	5,760	46,268	15,333																																																																																									
農地の賃貸(地目水田)	400	-	-	○花き パイプハウス 6.3×50m 30棟 管理用ティラー 乗用トラクタ50sp 軽トラック4WD ロータリー 1.5m 除雪機 幅1.2m 自走セット動噴除機 かん水施設一式 プレハブ冷蔵庫2坪 暖房機・灯油タンク 3万kcal・480リットル 5台 自動換気装置 自動灌水装置																																																																																												
大中輪カーネーション8～9月切り	10	80,500	1,204																																																																																													
スプレーカーネーション9月切り	60	71,400	1,038																																																																																													
上記のうち、一部越冬(2年目6～7、9～11月切り)	15	192,150	1,252																																																																																													
ゆり オリエンタル系9月切り 定植年	20	10,600	480																																																																																													
ゆり オリエンタル系7～8月切り 2年目	10	9,600	392																																																																																													